データヘルス計画

第3期計画書

最終更新日:令和7年09月16日

三重交通健康保険組合

STEP 1-1 基本情報

組合コード	59055
組合名称	三重交通健康保険組合
形態	単一
業種	運輸業

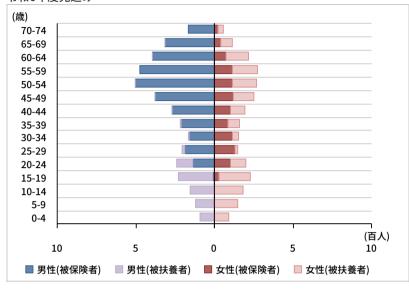
	令和6年度見込み	令和7年度見込み	令和8年度見込み
被保険者数 * 平均年齢は 特例退職被保 険者を除く	4,230名 男性75.4% (平均年齢50.1歳)* 女性24.6% (平均年齢42.1歳)*	4,340名 男性74.7% (平均年齢50.5歳) * 女性25.3% (平均年齢42.7歳) *	-名 男性-% (平均年齢-歳) * 女性-% (平均年齢-歳) *
特例退職被保険 者数	0名	0名	-名
加入者数	6,509名	6,474名	-名
適用事業所数	24ヵ所	24ヵ所	-ヵ所
対象となる拠点 数	36ヵ所	36ヵ所	-カ所
保険料率 *調整を含む	104‰	104‰	-%0

		健康保険組	l合と事業主側の	の医療専門	職			
		令和6年度!	見込み	令和7年度	見込み	令和8年度見込み		
		常勤(人)	非常勤(人)	常勤(人)	非常勤(人)	常勤(人)	非常勤(人)	
健保組合	顧問医	0	0	0	0	-		-
连体租口	保健師等	1	0	1	0	-		-
事業主	産業医	0	28	0	28	-		-
尹未工	保健師等	0	0	0	0	-		-

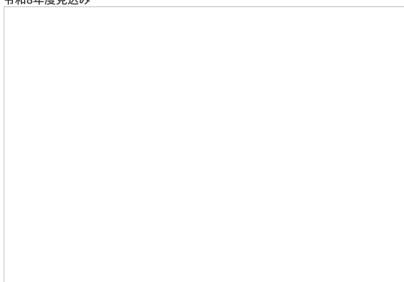
		第3期における基礎数値 (令和4年度の実績値)
特定健康診査実施率	全体	3,051 / 3,557 = 85.8 %
(特定健康診査実施者数÷	被保険者	2,716 / 2,777 = 97.8 %
特定健康診査対象者数)	被扶養者	335 / 780 = 42.9 %
特定保健指導実施率	全体	228 / 694 = 32.9 %
(特定保健指導実施者数÷	被保険者	224 / 673 = 33.3 %
特定保健指導対象者数)	被扶養者	4 / 21 = 19.0 %

		令和6年度見込み		令和7年度見込み		令和8年度見込み	
			被保険者一人 当たり金額(円)		被保険者一人 当たり金額(円)		被保険者一人 当たり金額(円)
	特定健康診査事業費	550	130	660	152	-	-
	特定保健指導事業費	4,810	1,137	5,360	1,235	-	-
	保健指導宣伝費	1,150	272	1,140	263	-	-
	疾病予防費	45,930	10,858	44,290	10,205	-	-
保健事業費	体育奨励費	740	175	740	171	-	-
	直営保養所費	0	0	0	0	-	-
	その他	398	94	398	92	-	-
	小計 ···a	53,578	12,666	52,588	12,117	0	-
	経常支出合計 ···b	2,218,263	524,412	2,287,990	527,187	-	-
	a/b×100 (%)	2.42		2.30		-	

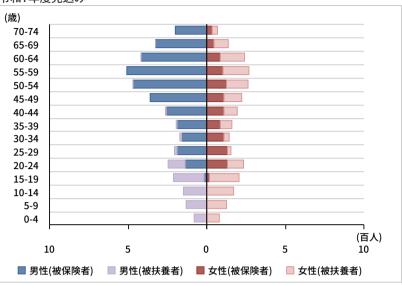
令和6年度見込み



令和8年度見込み



令和7年度見込み



男性(被保険者)

令和6年	度見込み			令和7年/	度見込み			令和8年	令和8年度見込み				
0~4	0人	5~9	0人	0~4	0人	5~9	0人	0~4	-人	5~9	-人		
10~14	0人	15~19	13人	10~14	0人	15~19	18人	10~14	-人	15~19	-人		
20~24	135人	25~29	190人	20~24	137人	25~29	186人	20~24	-人	25~29	-人		
30~34	158人	35~39	209人	30~34	160人	35~39	186人	30~34	-人	35~39	-人		
40~44	266人	45~49	380人	40~44	260人	45~49	358人	40~44	-人	45~49	-人		
50~54	501人	55~59	476人	50~54	468人	55~59	510人	50~54	-人	55~59	-人		
60~64	395人	65~69	314人	60~64	418人	65~69	323人	60~64	-人	65~69	-人		
70~74	163人			70~74	198人			70~74	-人				

女性 (被保険者)

令和6年原	度見込み		令和7年月	度見込み			令和8年/	度見込み		
0~4	0人 5~9	0人	0~4	0人	5~9	0人	0~4	-人	5~9	-人
10~14	0人 15~1	9 30人	10~14	0人	15~19	18人	10~14	-人	15~19	-人
20~24	101人 25~2	9 133人	20~24	130人	25~29	131人	20~24	-人	25~29	-人
30~34	115人 35~3	9 88人	30~34	110人	35~39	87人	30~34	-人	35~39	-人
40~44	103人 45~4	9 120人	40~44	108人	45~49	109人	40~44	-人	45~49	-人
50~54	117人 55~5	9 114人	50~54	128人	55~59	104人	50~54	-人	55~59	-人
60~64	73人 65~6	9 38人	60~64	人88	65~69	48人	60~64	-人	65~69	-人
70~74	25人		70~74	34人			70~74	-人		

男性(被扶養者)

令和6年原	度見込み			令和7年/	度見込み			令和8年	令和8年度見込み				
0~4	93人	5~9	120人	0~4	81人	5~9	133人	0~4	-人	5~9	-人		
10~14	155人	15~19	217人	10~14	149人	15~19	193人	10~14	-人	15~19	-人		
20~24	104人	25~29	16人	20~24	106人	25~29	17人	20~24	-人	25~29	-人		
30~34	8人	35~39	5人	30~34	10人	35~39	6人	30~34	-人	35~39	-人		
40~44	1人	45~49	1人	40~44	4人	45~49	0人	40~44	-人	45~49	-人		
50~54	1人	55~59	0人	50~54	2人	55~59	0人	50~54	-人	55~59	-人		
60~64	1人	65~69	2人	60~64	1人	65~69	2人	60~64	-人	65~69	-人		
70~74	0人			70~74	0人			70~74	-人				

女性(被扶養者)

令和6年	度見込み			令和7年	度見込み			令和8年度見込み			
0~4	90人	5~9	148人	0~4	80人	5~9	128人	0~4	-人	5~9	-人
10~14	183人	15~19	201人	10~14	170人	15~19	190人	10~14	-人	15~19	-人
20~24	98人	25~29	19人	20~24	101人	25~29	21人	20~24	-人	25~29	-人
30~34	40人	35~39	75人	30~34	35人	35~39	73人	30~34	-人	35~39	-人
40~44	94人	45~49	131人	40~44	86人	45~49	115人	40~44	-人	45~49	-人
50~54	154人	55~59	162人	50~54	135人	55~59	164人	50~54	-人	55~59	-人
60~64	143人	65~69	77人	60~64	153人	65~69	93人	60~64	-人	65~69	-人
70~74	32人			70~74	36人			70~74	-人		

基本情報から見える特徴

被保険者は男性が多い。平均年齢は男女共年々高くなってきている。 再雇用制度・短時間労働者等の加入により、高齢(65歳以上)の被保険者が増加している。 同時に、65歳以上の被扶養者(女性)も増加している。

STEP1-2 保健事業の実施状況

保健事業の整理から見える特徴

疾病予防(健診事業)を保健事業の中核として実施しているが、受診率の向上は、なかなか進まない。特に被扶養者の受診率増加を目的に、広報活動を行う。 保健指導や健康相談等、事業主の協力のもと実施しているが、保健指導は対象者が点在しているため効率的な事業を行うことが難しく、すぐに効果もでにくいのが現状である。 喫煙対策は、平成28年度より、事業所を巻き込んで実施している。

事業の一覧

争耒の一見	
職場環境の整備	
保健指導宣伝	健康推進委員会
加入者への意識づけ	
保健指導宣伝	ホームページ
保健指導宣伝	医療費通知書の配布
保健指導宣伝	グループ誌への広報掲載
個別の事業	
特定健康診査事業	特定健診
特定健康診査事業	情報提供
特定保健指導事業	特定保健指導
保健指導宣伝	リーフレット等の配布
疾病予防	人間ドック
疾病予防	被扶養配偶者共同巡回健診
疾病予防	被扶養者健診データ収集事業
疾病予防	健康相談事業(常勤保健師)
疾病予防	健康相談事業(委託保健師)
疾病予防	保健指導用検査材料購入
疾病予防	インフルエンザ予防接種補助
疾病予防	前期高龄者医療費対策事業
疾病予防	大腸がん検査補助
疾病予防	乳がん・子宮がん検査補助
疾病予防	重症化予防(糖尿病)
疾病予防	禁煙対策
疾病予防	重症化予防(高血圧症、脂質異常症)
疾病予防	若メタボ保健指導
疾病予防	歯周病に関するセミナー
体育奨励	歩こう会(健保連三重連合会)
その他	会員制保養施設
予算措置なし	ストレスチェックフォロー
事業主の取組	
1	インフルエンザ予防接種
2	健康相談事業

^{*}事業は予算科目順に並び替えて表示されています。

予	注1)				対象	者				振り返り		
目	事業 分類	事業名	事業目標	対象 事業所	性別	年齢	対象者	事業費 (千円)	実施状況・時期	成功・推進要因	課題及び阻害要因	注2) 評価
保健指導宣伝	環境の	健康推進委員会	保健事業の周知、協力依頼 新たな保健事業の提案	全て	男女	16~(上限なし)	被保険者	O	令和5年2月21日に実施。	当年度の保健事業の状況説明と次年度 の保健事業の説明を行った。 当健保の保健師による健康講話を行い 、日常の健康管理に気を付けてもらう ようにお願いした。	WEB開催ができる環境がないため、コロナ禍の中で日程調整が難しかった。	3
保健指導宣伝		意識づけ	HPの周知	全て	男女	0~(上限なし)	加入者全員	309	法改正等による修正、申請用紙等の修正を行い利用者への周知を図った。	適宜修正を行った。	閲覧回数を伸ばすこと。	4
	2,8	医療費通知書 の配布	適切な配布タイミング	全て	男女	0~(上限なし)	加入者全員	O	年4回配布した。	給与明細配布時に合わせて事業所経由 で配布した。	医療費に間違いがないかのチェックに あまり使われていない。	4
	2,5	グループ誌へ の広報掲載	加入者に有益な情報掲載	全て	男女	0~(上限なし)	加入者全員	5	2ヵ月おきに発行されるグループ誌へ 掲載。	毎号グループ誌に健保のページを確保 してもらっている。	自宅へ持ち帰って被扶養者にも見ても らうこと。	4
-	の事業											
特定健康診査事業	3	特定健診	加入者の健康維持	全て	男女	~	被扶養 者,任意 継続者	233	7月に案内し、25名健診	前期高齢者電話相談事業対象者自宅へ案内送付時に同封したこと。	健診に注意を向ける方は、人間ドック や共同健診を受けているため、受診者 が少ない。 健康に対する意識向上が必要である。	2
	2,3,5	情報提供	受診者の健康維持	全て	77	30 ~ 74	基準該当者	30	健診機関に委託 健診時に対象者に情報提供 42人に配布	健診機関に委託	健診機関により対応が異なる。	2
特定保健指導事業	4	特定保健指導	実施者の健康改善	全て	男女	40 ~ 74	基準該当者		10月から随時実施しているが、2月からのスタートが多い。 動機付け 3年度分63人 4年度分69人 積極的 3年度分27人 4年度分	事業所と協力して対象者を勧誘した。	指導対象者のリピーター対策	4

予	注1)				対象	者				振り返り		
予算科目	事業分類	事業名	事業目標	対象 事業所	性別	年齢	対象者	事業費 (千円)	実施状況・時期	成功・推進要因	課題及び阻害要因	注2) 評価
保健指導宣伝		リーフレット 等の配布	加入者の健康維持	全て	男女	16~(上限なし)	基準該当者	150	随時配布	対象者への説明資料として使用	適切な時期に適切なリーフレットを選 択すること。	3
疾病予防	3	人間ドック	加入者の健康維持 疾病の早期発見、早期治療	全て	男女	30	被保険 者,被扶 養者,基 準該当 者	32,181	前年度2月に申込受付 4月〜翌年2月に受診 被保険者1,202人 被扶養者 146人	健診機関との調整	健診機関によっては本人の希望日に受 診できないことがある。 新型コロナの感染拡大の影響を受けた 。	5
	3		加入者の健康維持 疾病の早期発見、早期治療	全て	女性	~	被扶養 者,基準 該当者	4,428	7月案内 8月~1月実施 187人受診	申し込みから健診、事後のフォローま で一連の流れで実施した。	共同事業のため一部の地域で実施されない。	4
	3	被扶養者健診 データ収集事 業	特定健診受診率のアップ	全て	男女	40~ (上限なし)	被扶養者	460	37人入手	提供者へ2,000円のQUOカードを進呈 。	特定健診の基準を満たしていない結果 を送ってくる人が何人かいる。	2
	4,6	健康相談事業 (常勤保健師)	事業所と協力して加入者(被保険者)の健康維持に努める。 重症化予防のため、受診勧奨を適宜実施	全て	男女	0~(上限なし)	被保険者	5,267	定期健診後に健康相談を実施。 事業所の要請により健康教室を実施し ている。	保健師は研修会等に参加し情報収集に 努め、スキルアップを図り、事業所と 共同で社員の健康を守っている。		4
	4,6	健康相談事業 (委託保健師)	事業所と協力して加入者(被保険者)の健康維持に努める。 重症化予防のため、受診勧奨を適宜実施	全て	男女	16~(上限なし)	被保険者	C	長年委託していた保健師が来れなくなったため実施できなかった。	常勤保健師がフォローし、前年に常勤 保健師と委託保健師の合計の相談件数 を上回った。	保健師の確保。	5
	6	保健指導用検 査材料購入	被保険者の健康維持のための健康相談時に利用する検査消耗品	全て	男女	16~(上限なし)	被保険者	30	必要時に利用した。	アルコール耐性や咀嚼チェックガムに より咀嚼力の検査等を行い、参加者の 健康管理を実施した。	対象者のフォロー	4
	3	インフルエン ザ予防接種補 助	予防接種することによりインフルエンザに罹患した時の重症化予防	全て	男女	16~(上限なし)	被保険者	1,370	10月~2月	職域接種を行う事業所が増えてきた。	被扶養者への予防	5

予	23-11				対象	者				振り返り		
予算科目	注1) 事業 分類	事業名	事業目標	対象 事業所	性別	年齢	対象者	事業費 (千円)	実施状況・時期	成功・推進要因	課題及び阻害要因	注2) 評価
	4,6,7	前期高齢者医療費対策事業	前期高齢者、3年以内に前期高齢者になる人達の、健康維持。 すでに罹患している重病患者の医療費削減は難しいが、現在は比較的 健康な人の健康維持を目指す。	全て	男女	~ 72	被扶養 者,基準 該当者	228	10月案内状送付 55人 12月電話相談スタート11人	高齢者の健康管理を行い、医療費を抑 制する。	案内した人の参加率の向上	3
	3	大腸がん検査 補助	大腸がんン早期発見	全て	男女	40~ (上限なし)	被保険者	2,570	定期健診時に合わせて実施 2,300 人	定期健診時に実施したこと	要精検者へ受診勧奨を行っているが医 療機関へ行かない人がいる。	4
	4	乳がん・子宮 がん検査補助	乳がん子宮がんの検診を促進し、早期発見を目指す。	全て	女性	20~ (上限なし)	被保険者	642	4月〜2月 乳がん 125人 子宮がん 120人	健診機関によっては補助金により本人 負担なしで検診できる。	被扶養者への対応	4
	5	重症化予防(糖尿病)	糖尿病の悪化を防ぐ。	全て	男女	40~(上限なし)	被保険者,基準該当者	266	津地区で1回開催 参加者 10人	事業所の協力 保健師がセミナーで伝えてほしい内容 を委託先に指示を出した。	セミナーの内容を真剣に受け取り、継 続的に生活改善に取り組み、重症化し ないようにすること。	4
	5	禁煙対策	喫煙者の減少 受動喫煙を減らす	一部の 事業所	男女	20~ (上限なし)	被保険 者,被扶 養者	(健保連本部のサポート事業(禁煙サポート)にて年間を通じて参加者を募集 した。 12名参加。	年間を通じて募集したため参加しやす かった。	中高年の管理職、役員が喫煙している 事業所では一体となっての禁煙運動が しにくい。	3
	5	重症化予防(高血圧症、脂 質異常症)	高血圧症、脂質異常症の悪化を防ぐ	全て	男女	40~(上限なし)	被保険者,基準該当者	(11月 15人参加	事業所の協力	健保連からのサポート終了後どうする か。	4
	4	若メタボ保健 指導	40歳までの対象者に対し、保健指導を行い、40歳なった時に保健指導 対象者とならないようにする。	全て	男女	~	被保険 者,基準 該当者	(12月~ 参加者 10人	委託先が直接日程調整を行っている。 若年者は実施効果が高い。	指導拒否者への対策	4
	5		歯に関する知識を深めてもらい、歯周病予防に努めてもらい、医業費 の増加を防ぐ。	全て	男女	16~(上限なし)	被保険者	(コロナの影響で歯科健診の日程の調整 が取れず、健康管理推進委員会(令和 5年2月21日)において保健師の歯周 病に関する講話を実施した。		今回は歯科検診はできなかったが、費 用対効果が高いとは思われない。	3

予	÷1\				対象	者				振り返り		
予算科目	注1) 事業 分類	事業名	事業目標	対象 事業所	性別	年齢	対象者	事業費 (千円)	実施状況・時期	成功・推進要因	課題及び阻害要因	注2) 評価
体育奨励	5		ウォーキング習慣をつける。 内臓脂肪を燃焼する手助けを行う。	全て	男女	6~(上限なし)	加入者全員	384	リオーチングチャンペーン リロ〜II	歩こう会は毎年11月3日に実施して おり、認知度が高い。	歩こう会の参加者数は戻りつつあるが コロナ前までは回復していない。	3
その他	8	会員制保養施 設	加入者の心身休息	全て	男女	0~(上限なし)	加入者全員	396	年会費のみ	加入者の心身保養が目的	利用者の低迷	1
予算措置なし	5		事業所実施のストレスチェックへの助言等を行い、ハイリスク者と面 談を行い、事業所と協力しフォローする。	一部の 事業所		16~ (上限なし)	被保険 者,基準 該当者	C		委託業者、事業所と連携し、ハイリス ク対象者へフォローを行うこと。	対象者と事業所がいかに真剣に取り組 むことができるか。	1

注1) 1. 職場環境の整備 2. 加入者への意識づけ 3. 健康診査 4. 保健指導・受診勧奨 5. 健康教育 6. 健康相談 7. 後発医薬品の使用促進 8. その他の事業

注2) 1.39%以下 2.40%以上 3.60%以上 4.80%以上 5.100%

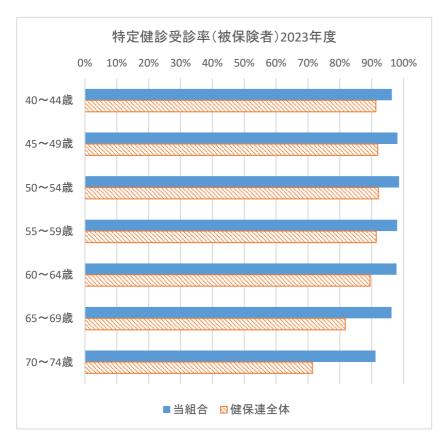
		対針	象者			振り返り		共同
事業名	事業の目的および概要	資格	性別	年齢	実施状況・時期	成功・推進要因	課題及び阻害要因	実施
事業主の取組								
インフルエンザ予 防接種	予防接種者を増やすため	被保険者	男女		三重交通にて接種補助1,000円を実施。 一部の事業所にて集団接種。	集団接種を実施している事業所は接種率が高い 。		無
健康相談事業	定期健診後のフォロー	被保険者	男女	~ .	当組合ならびに当組合の委託保健師を活用して 、健康相談を実施	事業所と当組合が協力して実施。		有

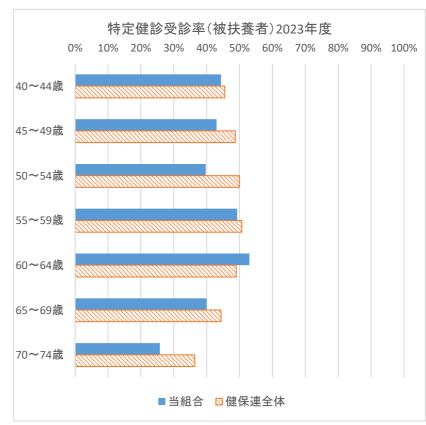
STEP 1-3 基本分析

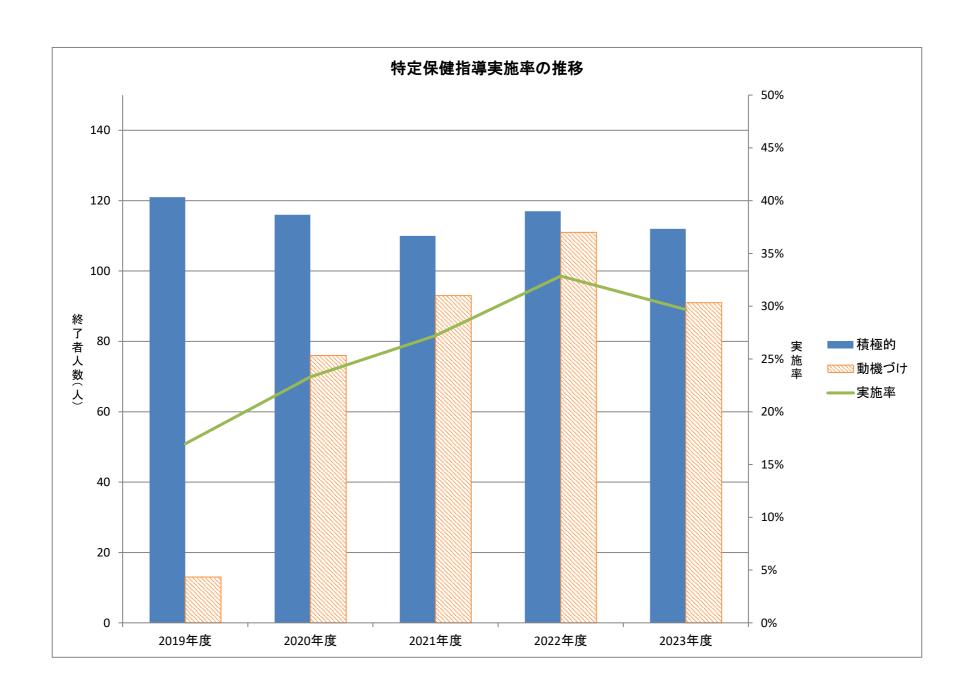
登録済みファイル一覧

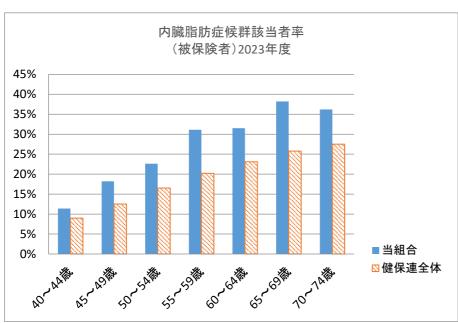
記号	ファイル画像	タイトル	カテゴリ	コメント
ア		特定健診受診率	特定健診分析	被保険者は、事業所で実施している定期健診データ、健診機関による人間 ドック受診データを受領しているが、1 ♥ ♥ % となっていないので、引き 続き事業所へ協力依頼が必要。 被扶養者は、健保連全体と比較し低いため、人間ドック受診データ、共同 巡回健診、健診データ収集等を含め、受診率アップに努める。
1		特定保健指導実施率	特定保健指導分析	保健指導実施率は非常に低い状況である。 全国平均の27.6%よりは上回っているが、健保連平均率35.4%まで達してい ない。
ウ		内臓脂肪症候群該当者率	特定健診分析	健保連全体と比較し、被保険者は、該当者、予備軍とも多い傾向にある。
I		特定保健指導対象者の減少率	特定健診分析	被保険者の減少率は、近年15%前後で、ほぼ横ばいとなっている。 被扶養者は対象者が少ないため、比較できない。
オ		内臓脂肪症候群該当者の減少率	特定保健指導分析	被保険者の減少率は、近年20%台であったが、2023年度は20%を下回った。 。 被扶養者は対象者が少ないため、比較ができない。
カ	Page Page	疾病分類別一人当たり医療費	医療費·患者数分析	健保連全体と比較すると、 被保険者は、新生物、内分泌(糖尿病)、神経系、循環器系疾患が多い。 被扶養者は、新生物、精神・行動障害が多い。。

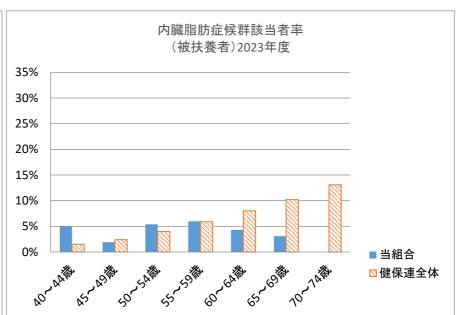
‡		疾病分類別医療費	医療費・患者数分析	被保険者・被扶養者共に新生物に医療費がかかっている。 新生物は受診者数の割に医療費が高いのがわかる。 新生物は、罹患すると高額医療費となる。
Ð		生活習慣病に関わる一人当たり医療費	医療費·患者数分析	三大生活習慣病である糖尿病、高血圧症、高脂血症(脂質異常症)は健保連全体と比較し、被保険者、被扶養者とも多い。 当組合の循環器系疾患が被保険者に多いのは、生活習慣病に起因するものと思われる。 重症化予防対策を継続して実施していくことが重要である。
ケ		喫煙状況調査	その他	事業所で実施している定期健診時の問診票、人間ドック受診時の問診票にて集計。 当健保の喫煙率は全国平均(男性25.6%、女性6.9%、全体15.7%)より高い。 喫煙者はがん、心臓病、脳卒中、肺気腫、歯周病など、特定の重大な疾病にかかる割合が高い。メタボリックシンドロームや糖尿病リスクを高め、動脈硬化を助長させ、心筋梗塞・狭心症等の虚血性心疾患や脳卒中を引き起こしやすいとも言われている。 将来を見据え、血圧を至適状態にする必要があり、そのためにも禁煙対策を継続していく。
_	100 - 100 -	前期高齢者生活習慣病医療費の経年変化	医療費・患者数分析	糖尿病、高血圧、人工透析の医療費が高い。 前期高齢者納付金に影響する前期高齢者医療費は、前期高齢者になる前に 、早期治療する必要がある。
Ħ	**************************************	年齢別一人当たり医療費	医療費・患者数分析	年齢が高くなるにつれ、一人当たりの医療費は増加している。

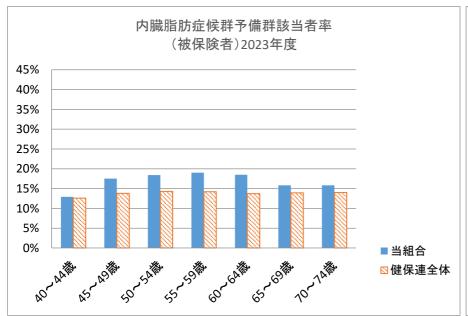


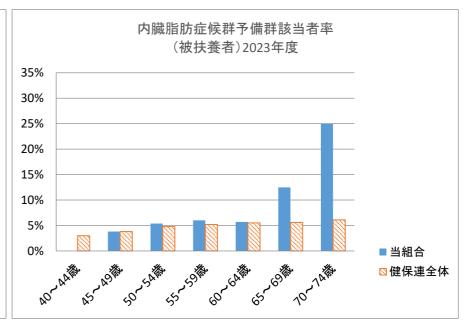


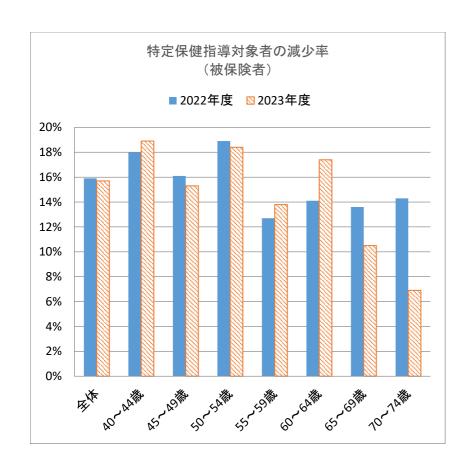


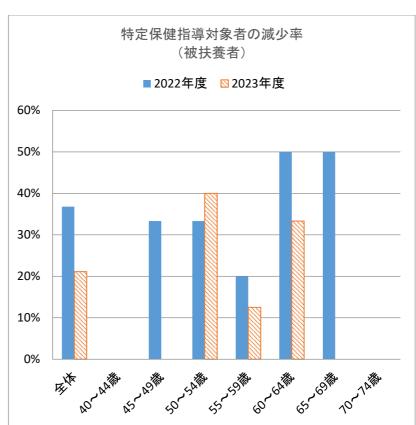


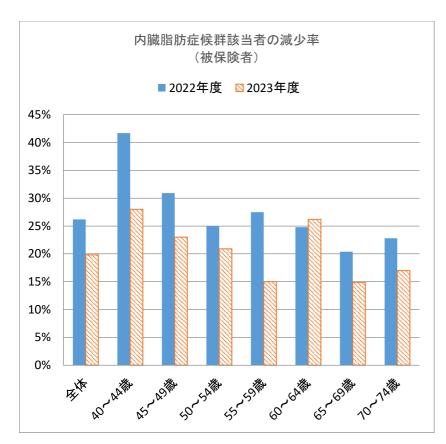


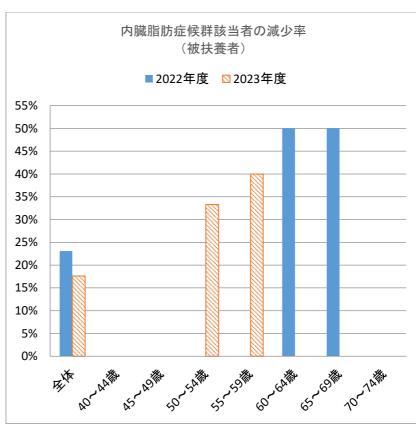


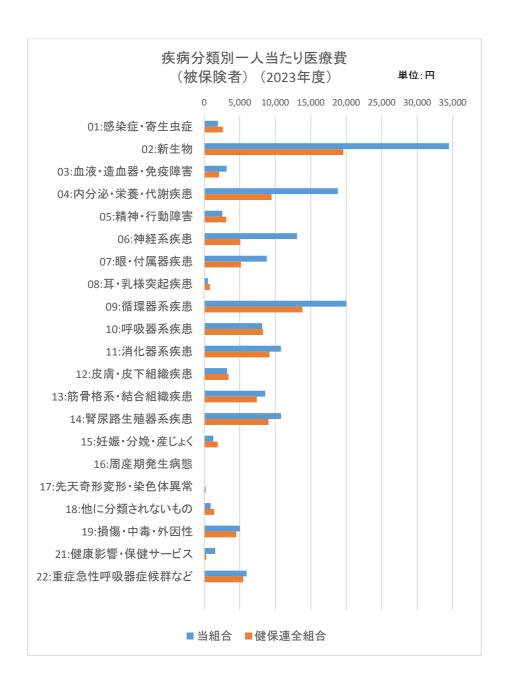


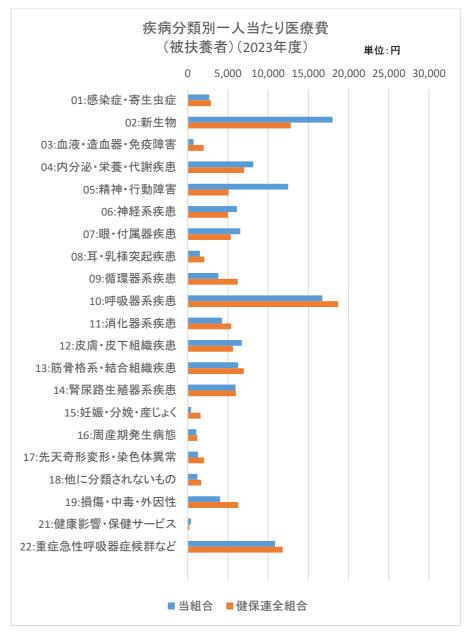


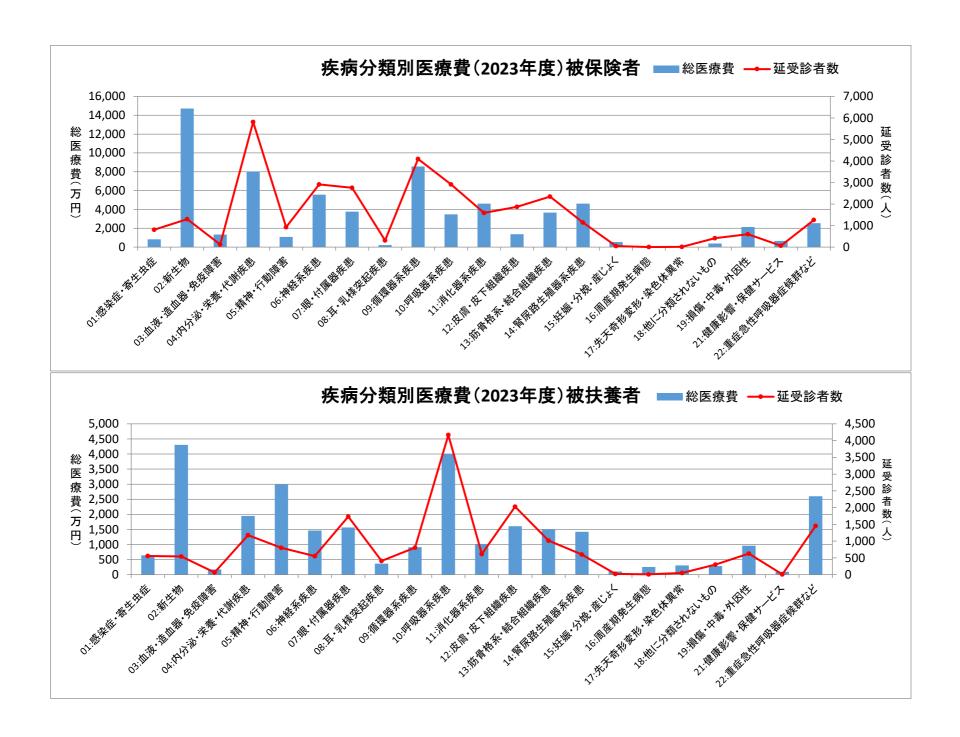


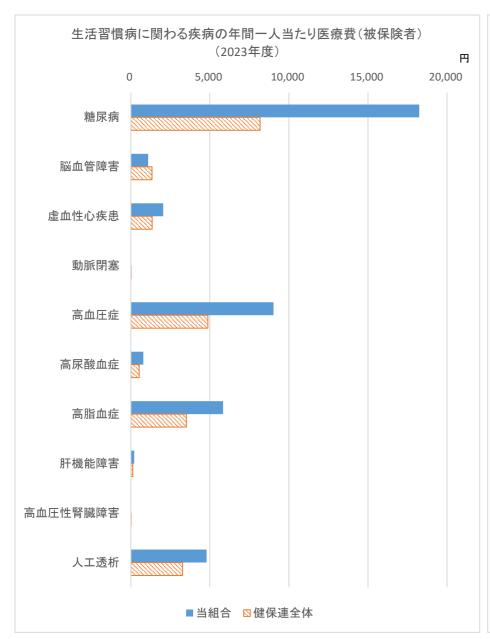


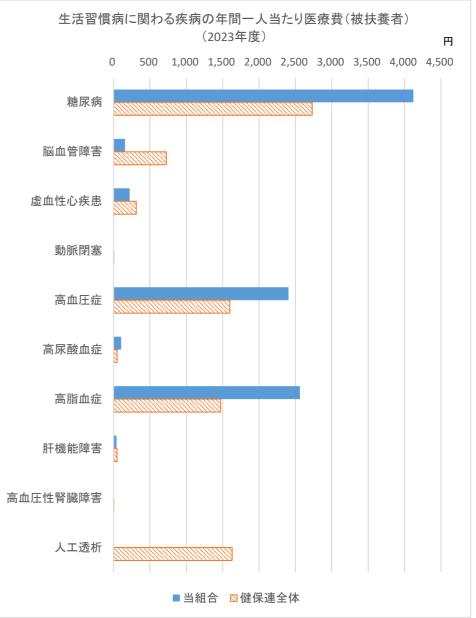


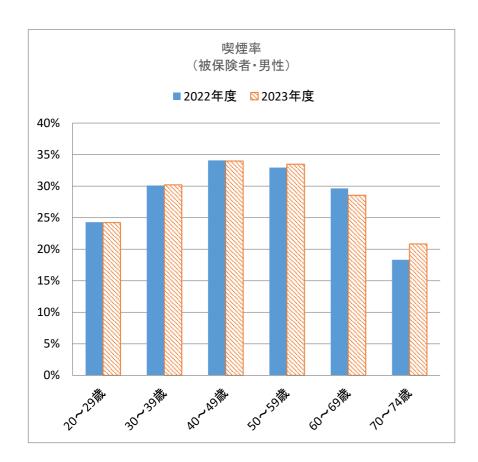


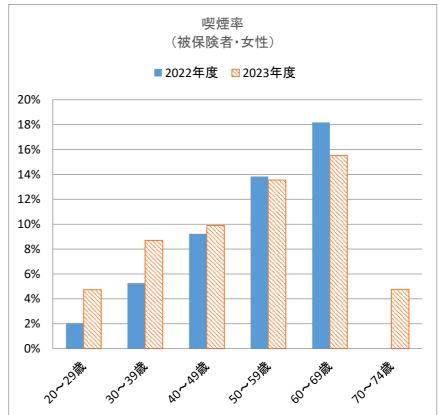


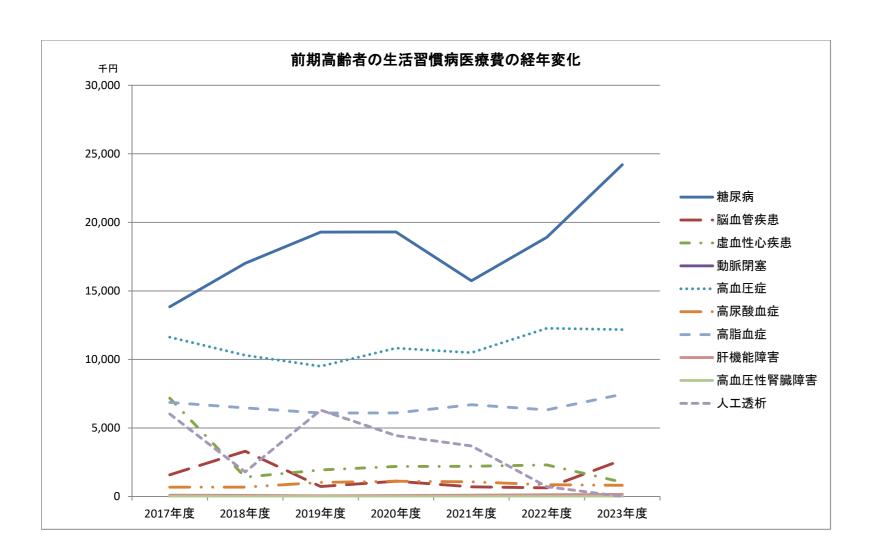


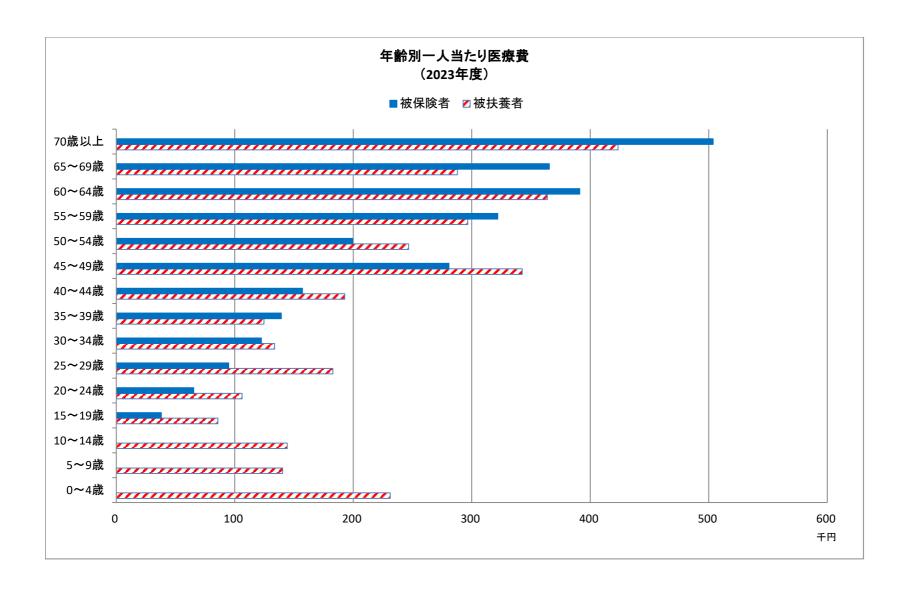












STEP 2 健康課題の抽出

No.	STEP1 対応項目	基本分析による現状把握から見える主な健康課題		対策の方向性	優先すべき 課題
1	ア	被保険者の特定健診受診率は100%に近いが、被扶養者の受診率が40%前後のため全体で国の目標値に到達していない。 被保険者は、定期健診のデータもれがないように注意する。 被扶養者は、受診率増加のため、いろいろな手段を講じる必要がある。	→	被保険者のデータ確保のため、事業主から健診状況を聞きだし、健診機関へ協力を求める。 被扶養者受診率を上げるため、より魅力的な健診の提供に努める。	
2	イ,ウ,エ, オ	保健指導の実施率は健保組合平均より低く、国の目標値に到達していない。 被扶養者は、毎年対象者が20人程度のため、利用者が発生すれば、利用率増加を見込める。 被保険者の半数以上の人が内臓脂肪型肥満のリスク保有者で、健保組合平均・業態平均より高い。 また、特定保健指導の対象者の割合は20%台前半で、健保組合平均・業態平均より高い。	→	(被保険者) 保健師が事業所と協力して対象者を勧誘し、業者に委託して保健指導を 実施する。 (被扶養者) 被扶養配偶者共同巡回健診の委託先の健診機関へは健診と保健指導をセットで委託する。 人間ドックでは被保険者と同様に健診機関と保健指導の契約を締結して 実施する。	•
3	コ, サ 3	前期高齢者は、医療費が高く、納付金にも影響してくる。 生活習慣病が増加傾向にあり、まだ医療費が伸びていない人に対して生活習 慣の見直し等をお願いする必要がある。	→	前期高齢者だけでなく、その手前の人を対象とした健康相談等を業者に 委託し、重症化予防に努める。 委託している業者へは引き続き電話相談をお願いし、健診受診勧奨もお 願いする。	~
4	カ,キ	令和5年度の医療費のうち新生物が占める割合は16.3%で、健保組合平均より高く、年々割合が高くなってきている。 がん治療の医療費は他の医療費より高い傾向にあるため、対策が必要である。	>	がんは早期発見すれば医療費を抑えることができる。 がん検診の大切さを広く知らしめる必要がる。	~
5	ケ	被保険者に新生物の患者が多い傾向である。 喫煙率も全国平均より高く、がん罹患リスクの高い人が多い。	>	喫煙対策のため、事業所へも協力をお願いする。 喫煙者が多いということは、受動喫煙リスクも高いことになるため、職 場環境の対策も必要である。	~
6	カ,キ,ク	生活習慣病の罹患者が年々増加傾向にある。 糖尿病が悪化すると、最悪透析となり医療費増大の要因になる。	→	生活習慣病対策には、食事と運動の両輪が必要であり、啓蒙活動等に努め、改めるきっかけづくりが必要である。 また、糖尿病と関連のある歯周病対策として、自己負担額が少ない市町 村歯周病検診の利用を促進し、重症者には保健師から直接連絡し治療を 促してもらう。	

基本情報

No.	特徴		対策検討時に留意すべき点
	被保険者は男性が多く、平均年齢も高い。 40歳以上からの被保険者が多い。	>	人員構成の偏り。 前期高齢者である65歳以上の方の増加。
	短時間労働者の加入により、65歳以上の方も増加している。		

保健事業の実施状況

No.	特徴		対策検討時に留意すべき点
	生活習慣病の対象者が多い。 保健指導、保健師による健康相談等を実施。	>	健康相談時に、受診勧奨や、医師の指示通りの服薬指導などに留意。
-)	保健事業への参加者の固定化。 被扶養者の受診率が低い。	>	保健事業の広報を強化する。 より魅力的な健診事業の提供。

STEP3 保健事業の実施計画

事業全体の目的 内臓脂肪症候群の低下を目標に、保健指導の強化を図る。 生活習慣病対策のために健康意識向上を図る。

事業全体の目標

保健指導の実施率を上げ、対象者の減少を図る。 保健師による受診勧奨を強化し、重症化予防を図る。

事業の一覧

事業の一覧	
職場環境の整備	
保健指導宣伝	健康推進委員会
加入者への意識づけ	
保健指導宣伝	ホームページ
保健指導宣伝	医療費通知書の配布
保健指導宣伝	グループ誌への広報掲載
個別の事業	
特定健康診査事業	特定健診
特定健康診査事業	情報提供
特定保健指導事業	特定保健指導
保健指導宣伝	リーフレット等の配布
疾病予防	人間ドック
疾病予防	被扶養配偶者共同巡回健診
疾病予防	被扶養者健診データ収集事業
疾病予防	健康相談事業(常勤保健師)
疾病予防	保健指導用検査材料購入
疾病予防	インフルエンザ予防接種補助
疾病予防	前期高齢者医療費対策事業
疾病予防	大腸がん検査補助
疾病予防	乳がん・子宮がん検査補助
疾病予防	★重症化予防(糖尿病)
疾病予防	重症化予防(高血圧症、脂質異常症)
疾病予防	禁煙対策
疾病予防	若メタボ保健指導
疾病予防	歯周病に関するセミナー
体育奨励	歩こう会(健保連三重連合会)
その他	会員制保養施設
予算措置なし	ストレスチェックフォロー

[※]事業は予算科目順に並び替えて表示されています。

注1) 7	新規			対	象者		注2)	注3)		注4) ストラク									
事業 20 20 20 20 20 20 20 2	既	事業名	対象	作品	年	対象者	実施主体	注3) プロセス 分類	実施方法	チャー	実施体制	令和6年度	令和7年度	令和8年原		年度 令和10年	年度 令和11年度	事業目標	健康課題との関連
一有	7		事業	f ^{1± л.}	齢	2387日		77.50		分類		77410平皮	7411年及	73/HO-4-1:	ξ 13 <i>1</i> 113-	中皮 节和10-	<u> </u>		
境の整	を備								アントノット担保				_				プソトガム拍標		
													30	30	30	30	30	30	
					16 ~														
					_														
2 界	既健原存 会	康推進委員	全で	男女	上限	被保険者	1	サ,ス	健康管理推進員を集め、	ア,サ	委員は事業主の推薦によ り選出	継続	継続	継続	継続	継続	継続	保健事業の周知、協力依頼	該当なし
1-	子云				吹な	有			会議を開催。		り選山							新たな保健事業の提案	
					L														
員会の	開催	(【実績値】	10	目標値】	令和	6年度:2	2回 숙	3和7年度:	:2回 令和8年度:2回 令	和9年度:2[回 令和10年度:2回 令和	口11年度:2回)委員会の	開 周知や意見を伺う場 (アウトカムは設定さ		なじまない。				
	- =667												()))	240 (0 0 270)					
への意	識つ	ਹਿ ਹ											500	500	500	500	500 5	500	
					0														
					~														
2,5 忠	斑 "	ームページ	全 7	男女	上	加入者	1	т		シ		継続	継続	継続	継続	継続	継続	H Pの周知	該当なし
,,5	子	4.	Ξ.	77.5	限な	全員	_	_				神工小り	145Z 12 C	<u>የ</u> የድ ለን ር	<u>ቀድ</u> ለሃር	州亚州	M₹ 10 C	111 07/61/41	改当ると
					し														
						度:25回	回 令和	07年度:2	25回 令和8年度:25回 令	和9年度:2	5回 令和10年度:25回	令和11年度:25回)ホー	ム 告知したいことがあ	るたびに利用するので、	設定になじまない。				
		らせにて、名 時アップ。	各種情 第	を伝達。									(アウトカムは設定さ						
													300	300	300	300	300	300	
					0								300	300	300	300	300	.00	
					~														
BI	亚库	療費通知書			<u>_</u>	加入者													
' X	存の		全て	男女	限	全員	1	ス	-	シ	-	継続	継続	継続	継続	継続	継続	適切な配布タイミング	該当なし
					な														
- 李書通	ā4Π/	【宝績値】2回	a fe	煙値】。	会和6台	∓度・2回	1 今和	17年度・2	2回 令和8年度:2回 令和9	9年度・2回	今和10年度・2回 今和1	1年度・2回)医療費の確	認 音識付けや確認の <i>た</i>	め 日煙値の設定にかし	まない。				
									期待するとともに、医療の内				(アウトカムは設定さ						
													10	10	10	10	10	10	
					0														
					~														
		ループ誌へ	소7	里力	. 上	加入者全員	2	7	2ヵ月おきに発行される	٠	グループ誌担当者へ原稿を送付	继结	継続	継続	継続	継続	継続	加入者に有益な情報掲載	該当なし
., 有	字の!	広報掲載	`	73.2	限な	全員	_		グループ誌へ掲載		を送付	ብ <u>ዋድ</u> ብን ር	442-47 C	ጥደድ ካን L	ጥደድ ጥን ይ	がたかり	WET NO C	がく日に日本の日本の	2.00
					L														
行回数	双(【事	『績値』6回	【目標	値】令	和6年月	隻:6回	令和7	年度:6回] 令和8年度:6回 令和9年	F度:6回 4	令和10年度:6回 令和11年	丰度:6回)-		せを適宜掲載することと	しているので、設定にな	なじまない。			
	, 25											, , , , , , , , , , , , , , , , , , , ,	(アウトカムは設定さ	されていません)					
事業													484	484	484	484	484	484	
													404	404	404	404	404	104	被保険者の特定健診受診率
																			に近いが、被扶養者の受討
					40	被扶養			人間ドック、被扶養配偶										%前後のため全体で国のE 到達していない。
3 忠	光 左 特	定健診	全で	男女		者,任意	1	ス	者共同巡回健診を申し込 んでいない方へ受診券発	シ	-	継続	継続	継続	継続	継続	継続	加入者の健康維持	被保険者は、定期健診の
15	ŗ				74	継続者			行の案内										れがないように注意する。 被扶養者は、受診率増加の
																			いろいろな手段を講じる。
																			ప 。
	【実績	責値】30人	【目標	直】令和	16年度	:30人	令和7	年度:35,	人 令和8年度:40人 令和	19年度:45	令和10年度:50人 令	和11年度:55人)健診実		+ - m A	o/ Fm m/+1	d . = 00/ 0 d = - 1	0/ A 700 Feb	A Tara Esta a Company	
促進 の健診	を受	けていない人	人へのそ	診勧奨									内臧脂肪症候群該当	者の割合(【実績値】5.4	% 【目標値】令和6年	度:5.0%	%	:5.0% 令和10年度:5.0% 令和11年	- (B:5.0%)-
													力職能胜存使恶多供	雷の割合/【宝繕信】6つ	% 【日堙荷】 今和6年	度・6.0% 会和7年度・6.0	% 今和8年度・6.0% 今和0年度	:6.0% 令和10年度:6.0% 令和11年	一時:6.0%)-
																			-1× · 0.070j-
													66	66	66	66	66	66	4
				男女	30	其淮該			ht-14 l/W mg :										生活習慣病の罹患者が年々 向にある。
Ē	牙	40 IO							1/2=0 MW HB /= 2							かかや士	かり 6年	受診者の健康維持	
3,5 克	斑 情:	報提供	全て	男女	~ 74	基準該 当者	Т	オ,コ	健診機関に委託	カ		継続	継続	継続	継続	継続	継続	又の自の庭原作行	
3,5 克	既 情	報提供	全で	男女	74	当者	1	ਕ ,⊐	健診機関に安託	<i>ז</i> ז		継続	経統	継続	継続	科丕 桁	种生物で	文が自の庭原権が	糖尿病が悪化すると、最悪 なり医療費増大の要因にな
1 . 取提供	t t者数(68人	【目標値	74 [] 令和	3 G 106年度:			健診機関に会託 変:90人 令和8年度:100		- 度:100人 令和10年度:1			応	継続	本 图	神 整物で	又のグロの妊尿性対	

主1) 新 規	- 	4		対象者		注2				体上上	ス	注4) ストラク	中提供制					予算額(千円) 実施計画				古兴口 栖	/持体=88534 0 883
事業 パロ けい カラップ アリア・アリア・アリア・アリア・アリア・アリア・アリア・アリア・アリア・アリア	事業	文	才象 業所	生別解	対象	一 実施 者 主体	が プロ		実	施方法	- 1	・・・・ チャー 分類	実施体制		令和6年度	令和7年度	令和8年度		和9年度	令和10年度	令和11年度	事業目標	健康課題との関連
,		1 37	<i>жи</i> [<u> </u>		"		' ウトプッ				A description							アウト	」 カム指標		
定健診 度:88		ミ績値】86	.7%	【目標値	!】令和6	年度:	86.6%	令和7	年度:87.	.0% 令和	18年度:8	87.5%	令和9年度:87.9% 令和	110年度	:88.3% 令和11								
															4,810	4,81)	4,810	4,81	4,81	0 4,81	.0	
4 存		指導	全て	40 男女 ~ 74	44.7		<i>ク</i> ,ケ	货出	保健師によ 出の後、委	、り対象者 記託先へ委記	を抽 ア,	, h	-	継続	·	継続	継続	継続		継続	維続	実施者の健康改善	保健指導の実施率は健保組より低く、国の目標値に至いない。 被扶養者は、毎年対象者が 度のため、利用者が発生す 利用率増加を見込める。 被保険者の半数以上の人が 財型肥満のリ戦を見かられて 組合平均・業健指導の 会に、特定保健指導の 合は20%台前とで、健保組 ・業態平均より高い。
	実績値】29 健指導対象					5.1%	令和7年	度:36	.2% 令和	和8年度:3	37.3%	令和9年/	度:38.3% 令和10年度:	: 39.2%		内臓脂肪症候群該当者割る 象者の率は一時的に増加す					18年度:22.0% 令和9年度	度:21.0% 令和10年度:20.0% 令和1	1年度:19.0%)健診者の増加に。
															300	300)	300	30	30	0 30	0	
	! リーフレ [、] ・ 等の配布		Èτ !	16~ (上限なし)	, : 基準 ! 当者 :	孩 3	ス	-			シ			継続		継続	継続	継続		継続	継続	加入者の健康維持	該当なし
!布回数(【実績値】	10 [目標値】	令和6年	度:1回	介和	7年度:	10 4	令和8年度	:1回 令	和9年度	:10 4	令和10年度:1回 令和11	L年度:1		加入者の健康維持全般に対 (アウトカムは設定されて		りのため、設定に	そぐわない。				
															27,000	27,000	2	7,000	27,00	27,00	0 27,00	0	
3	. 人間ドッ:	ク ≦	ὲ τ !		被保I 5 者,被 者者, 4 準該 者	扶 基 1 当	イ,ウ	, / 7 -			ħ		_	継続		継続	継続	継続		継続	継続	加入者の健康維持 疾病の早期発見、早期治療	令和5年度の医療費のうちが占める割合は16.3%で、合平均より高く、年々割合なってきている。がん治療の医療費は他の医り高い傾向にあるため、対要である。 生活習慣病の罹患者が年々向にある。糖尿病が悪化すると、最悪
	数(【実績値 ,400人)受診			標値】	令和6年/	度:1,40	00人 名	令和7年	度:1,400	0人 令和8	8年度:1	L,400人	令和9年度:1,400人 令	分和10年月		(新生物)年間一人当たり レセプト単位医療費(3月		,612円 【目標低	直】令和6年度	: 25,000円 令和7年度:2	4,000円 令和8年度:23,0	000円 令和9年度:22,000円 令和10年	なり医療費増大の要因にな 度:21,000円 令和11年度:2
															5,170	5,17)	5,170	5,17	5,17	0 5,17	70	
			全て I	女性 ~) 被扶 ,者,基 1 該当	準 1	イ,ウ	,才,力 翌	委託先にて	実施	ħ		対象者を抽出し委託先にて案内送付	継続		継続	継続	継続		継続	継続	加入者の健康維持 疾病の早期発見、早期治療	被保険者の特定健診受受診 に近いが、被分全体で が前後のためなな定期健診のデ れがないなに対きでする。 被保険者は、うに受診を講じるる。 を相がながまする。 を和5年度の医療費のうちがよりので、合いのとのでで、 合いのというで、自なのというで、自なのとので、 ながらいるので、自なのとが、割合で、 ながらいる。 がよりないる。 がよりていない。 がよりない。 ないというで、というで、というで、というによる。 がは、ののというで、というによる。 がは、ののというで、というによる。 がは、ののというで、というによる。 がは、ののというで、というによる。 がは、ののというで、というによる。 をは、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、
			ſ₽#	5估】 今 :	和6年度	. 220 1	、令和	7年度:	220人 名	令和8年度	: 220 A	令和9年	年度:220人 令和10年度	5:220人	、令和11年度:22	要精検者の減少(【実績値	29人未満 【目標値	】令和6年度:25	5人未満 令和	7年度:25人未満 令和8年	度:25人未満 令和9年度	:25人未満 令和10年度:25人未満 令	糖尿病が悪化すると、最悪 なり医療費増大の要因にな
診者人	数(【実績値	192人	L日信		コロマナク	. 220/	- 12 TH	. 1 /20															
	数(【実績値 率向上	192人	LHM		おり十一支	. 2207	. 1941				- 220, (12 1112				腹部超音波、便潜血、胸部	『X線、子宮頚部がん、	腫瘍マーカー等の	の精検者の延人	数		TO THE POST OF THE	

1) 新	斯 現				対象者		注	2)	注3)			注4) ストラ:	7					予算額(= 実施計					
業 // 類 存	斑	事業名		象性	年 計別 無	対象	一 渚 主	施 7	プロセス 分類	美	施方法	チャー	三三、7671人人 元月		 和6年度	令和7年度	令和8年		<u>岡</u>	令和10年度	令和11年度	事業目標	健康課題との関連
有	字		事	断	齢	733				アウトプッ	ト华博	分類		124	HO-TIX	J4H1-F1X	13-140-7	-150	[34H3-F-152				
3 規		扶養者健討 ータ収集事		·て 身	40~(上限なし)			1 9			I JE19X	۶	案内送付対象者を抽出し 、委託先へ依頼	継続		継続	継続	組	統	継続	継続	特定健診受診率のアップ	被保険者の特定健診受診率に に近いが、被扶養者の受診率 %前後のため全体で国の目材 到達していない。 被保険者は、定期健診のデー れがないように注意する。 被扶養者は、受診率増加のた いろいろな手段を講じる必要 る。
内数(【実績	値】152/	\ [E	標値]	令和6年	度:2	人00	令和7	年度:2	00人 令和	8年度:200人	令和9年原	度:200人 令和10年度:20	00人 令和11	.年度:200人)-	回収率(【実績値】24	1.3% 【目標值】令和	16年度:25.0	% 令和7年度:26.0%	6 令和8年度:27.0%	令和9年度:28.0% 令和10年	年度:29.0% 令和11年度:30.0%)-	
															5,760		5,760	5,760	5,70	5,7	760 5,76	50	
.,6	14.	康相談事 常勤保健的		てり	0~(上限なし)	被保	除	3 1	,ウ,オ,ク	, <u>.</u>		ア,サ		継続		継続	継続	組	統	継続	継続	事業所と協力して加入者(被保険者)の健康維持に努める。 重症化予防のため、受診勧奨を適宜実施	糖尿病が悪化すると、最悪
		数(【実績作	值】632	2人 [目標値】	令和	6年度:	700)	令和	7年度:700	人 令和8年月	度:700人	令和9年度:700人 令和10	年度:700人				り、間接的効	果のため設定しない。				
700人))-															(アウトカムは設定さ			_				
					16	;									200		200	200	20	2	200 20	00	
6		建指導用核 材料購入	全	:て 身	~ (上限なし)	被保		3 ス		-		シ		継続		継続	継続	継	続	継続	継続	被保険者の健康維持のための健康相談時に 利用する検査消耗品	該当なし(これまでの経緯 ⁴ 施する事業)
		数(【実績f 保健師と勢						700)	令和	7年度:700	人 令和8年月	度:700人	令和9年度:700人 令和10	年度:700人		健康相談時に利用すん (アウトカムは設定さ		的費用である	,				
															1,600	•	0	0		0	0	0	
8	イン ボザラ 助	ンフルエン 予防接種褚	ン 甫 全	:て	16~(上限なし)	被保	i i	1 ス		領収書によし補助	ちり接種確認な	[₹] シ		継続	•	廃止	廃止	廃	鈍	廃止	廃止	予防接種することによりインフルエンザに 罹患した時の重症化予防	該当なし(これまでの経緯 ⁴ 施する事業)
		値】1,467 し、インフ					-			: 0人 令和	口8年度:0人	令和9年度	:0人 令和10年度:0人	令和11年度:		インフルエンザ罹患 (アウトカムは設定さ							
															1,000		1,000	1,000	1,00	00 1,0	000 1,00	00	
5,7 ^既 存		朝高齢者图 費対策事業	T	てり	男女 ~	被拐者,基	. 準	1 ウ	,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,	-		シ	_	継続	·	継続	継続		統続	継続	継続	前期高齢者、3年以内に前期高齢者になる 人達の、健康維持。 すでに罹患している重病患者の医療費削減 は難しいが、現在は比較的健康な人の健康 維持を目指す。	付金にも影響してくる。 生活習慣病が増加傾向にあ
											令和8年度: になる前の対		9年度:40人 令和10年度: 実施	40人 令和1		健康維持を目的とし、 (アウトカムは設定さ		あり、効果目	標は定めにくい。				
															2,700		2,700	2,700	2,70	2,7	700 2,70	00	
	既 大朋存 補助	腸がん検査 助	至全	:て 身	40~(上限なし)		R険 f	3 ウ		被保険者定期健診時	(40歳以上)(作に同時実施	⁼ シ	-	継続		継続	継続		終続	継続	継続	大腸がん早期発見、早期治療を目指す。	令和5年度の医療費のうちが占める割合は16.3%で、 合平均より高く、年々割合なってきている。 がん治療の医療費は他の医り高い傾向にあるため、対 要である。
查参加: F度:2]者(【 2,500.	実績値】2 人)-	2,412人		標値】彳	令和6年	度:2,	500人	、 令和7	年度:2,50	0人 令和8年	度:2,500	、 令和9年度:2,500人 令	3和10年度:2	2,500人 令和1	要精検率(【実績値】	5.5% 【目標值】令	和6年度:5.5	% 令和7年度:5.0%	令和8年度:4.5% 令和	19年度:4.0% 令和10年度	:3.5% 令和11年度:3.0%)-	
.~ - 2	.,550,	,													400		400	400	40		100 40		
															100			.00			70		

注1)	新			対象者	者		注2)	注3)	注3) プロセス 実施方法 分類	注4) ストラク チャー	, 実施体制	予算額(千円) 実施計画						4	
事業 分類	既存	事業名	対象事業所	性別	年対	実施 対象者 主体		プロセス 分類				令和6年度	令和7年度	令和8年度	©1 回 ・		令和11年度	事業目標	健康課題との関連
	存		事業所	î '-"'	齢 ^	ж д				分類		[3/HO-F/S	Dilli Tix	13-140-7-152	13413-12				
		がん・子宮 がん検査補助	全て	女性	20~(上限なし)被	保険者	1	シ	4月1日現在偶数年齢の 保険者が、検診を受けた ことを確認し、費用の補 助を実施 乳がんは40歳以上が対象	シ	-	継続	継続	継続	継続	継続	継続	乳がん子宮がんの検診を促進し、早期発見 、早期治療を目指す。	令和5年度の医療費のうち新生物が占める割合は16.3%で、健保組合平均より高く、年々割合が高くなってきている。がん治療の医療費は他の医療費より高い傾向にあるため、対策が必要である。
受診者 人)-	数(【	実績値】298 /	人【目	標値】令和	和6年度	: 150	人?	3和7年度	:150人 令和8年度:150人	人 令和9年	度:150人 令和10年度:	150人 令和11年度:150	がん検診を受けさせること (アウトカムは設定されて						
	600											600)				
5		重症化予防 (糖尿病)	全て	男女	上者	保険 基準 当者	3	エ,ク,ケ	保健師が健診結果をもと に対象者を抽出	シ		継続	継続	継続	継続	継続	継続	糖尿病の悪化を防ぐ。	生活習慣病の罹患者が年々増加傾向にある。 糖尿病が悪化すると、最悪透析と なり医療費増大の要因になる。
参加者	(【実	責値】7人	【目標値	 令和6年	度:10)人 令	和7年	度:10丿	、 令和8年度:10人 令和	9年度:10人	、 令和10年度:10人 令	和11年度:10人)-	悪化防止を目的としている (アウトカムは設定されて						
													0	0	0	0	0		
5	左	症化予防(5血圧症、脂 5異常症)	全て	男女	40~(上限なし) 被者該	.基準	3	エ,ク,ケ	保健師が健診結果をもと に対象者を抽出	シ	健保連本部サポート事業 を利用	継続	継続	継続	継続	継続	継続	高血圧症、脂質異常症の悪化を防ぐ	該当なし
参加者	(【実	責値】25人	【目標値	直】令和6年	丰度:2	20人 *	令和74	年度:20	人 令和8年度:20人 令和	□9年度:20 <i>,</i>	人 令和10年度:20人 令	·和11年度:20人)-	悪化防止を目的としている (アウトカムは設定されて						
	加者(【実績値】25人 【目標値】令和6年度:20人 令和7年度:20人 令和8年度:20人 令和9年度:20人 令和10年度:20人 令和11年度:20人)-												0 0 0 0 0						
5	既 存	煙対策	全て	男女			3	ク,ケ	年間を通じて参加者を募 集	ア,シ	健保連本部サポート事業 (禁煙サポート)を利用	継続	継続	継続	継続	継続	継続	受動喫煙を減らす	令和5年度の医療費のうち新生物が占める割合は16.3%で、健保組合平均より高く、年々割合が高くなってきている。がん治療の医療費は他の医療費より高い傾向にあるため、対策が必要である。
減少	,	責値】22人 0%弱)まで呼			丰度:3	80人 4	令和7	年度:30	人 令和8年度:30人 令和	D9年度:30 <i>,</i>	人 令和10年度:30人 숙	命和11年度:30人)喫煙者の	効果設定が難しいため (アウトカムは設定されて	いません)					
		,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,	X/ L C										0	0	0	0	0	0	
4	既者存捐	ミメタボ保健 注導	全て	男女	30 被 ~ 者 40 該	基準	1	オ,ク,ケ	保健師が対象者を抽出し 、委託先へ保健指導を依頼 健診データに基づき、参加者を選定	シ	三重連合会の健保連本部 サポート事業を利用	継続	継続	継続	継続	継続	継続	40歳までの対象者に対し、保健指導を行い 、40歳なった時に保健指導対象者とならな いようにする。	
対象者	(【実	責値】8人	【目標値	令和6年	度:10)人 令	和7年	度:10丿	令和8年度:10人 令和	9年度:10人	、 令和10年度:10人 令	和11年度:10人)-	改善率(【実績値】62.5%	【目標值】令和6年度:	65.0% 令和7年度:65.0%	· 令和8年度:65.0% 令	和9年度:65.0% 令和10年	度:65.0% 令和11年度:65.0%)-	
					1.0							500	0 500	500 500 500 500)				
		間病に関す セミナー	全て	男女	16~ (上限なし)	保険者	1	Z	-	y		継続	維統	継続	継続	継続	継続	歯に関する知識を深めてもらい、歯周病予防に努めてもらい、医業費の増加を防ぐ。	該当なし
回数(【実績	直】2回 【目	目標値】	令和6年度	:2回	令和7	7年度	: 2回 숙	命和8年度:2回 令和9年度	: 2回 令和	10年度:2回 令和11年度	:2回)-	啓蒙活動のため (アウトカムは設定されて	いません)					
												74	0 74	0 74	10 74	0 74	740		
5	5元 作	をこう会(健 関連三重連合 注)	全て	男女	6~(上限なし)	入者 }員	1	ス	健保連三重連合会実施の 事業から案内があった時 、加入者へ告知し参加を 促す。	8,		継続	継続	継続	継続	継続	継続	ウォーキング習慣をつける。 内臓脂肪を燃焼する手助けを行う。	該当なし(これまでの経緯等で実 施する事業)

予	注1) 新規	注1) 新 規 事業 既 分類 存		対象者		注2)		実施方法	注4) ストラク チャー 分類	実施体制	予算額(千円) 実施計画								
科日	事業 776 一		対象 事業所	性別年齢	対象者	主体	プロセス 分類				令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度	事業目標	健康課題との関連	
								アウトプット指標							アウト	カム指標			
											60人 令和11年度:160	体力つくり、運動習慣をつけることを目的としており、実施効果(健康維持)の計測は難しい。 (アウトカムは設定されていません)							
											396	396	390	390	39	396			
その他	8 既存	会員制保養施 設	全て		の分には、一般では、一般では、一般では、一般では、一般では、一般では、一般では、一般で	1 2	z	-	シ	-	継続	継続	継続	継続	継続	継続	川 / 考(/) / 1.身体 見	該当なし(これまでの経緯等で実 施する事業)	
												休養のため、施設を利用するものであり、効果測定にそぐわない (アウトカムは設定されていません)							
											() ())		0	0		
予算措置なし	8 既	ストレスチェ ックフォロー	全て	<i>,</i> 男女 ⁻ ;	6 (上 根保 保 保 と 表 ま さ こ こ こ に に に に に に に に に に に に に	2 2		事業所で実施しているス トレスチェックのフォロ ー	ア	事業所と受託契約を締結	継続	継続	継続	継続	継続	継続	事業所実施のストレスチェックへの助言等を行い、ハイリスク者と面談を行い、事業所と協力しフォローする。	該当なし	
		戻績値】0% 、面談を実施		】令和6年	度:10% 名	令和7年原	度:10%	令和8年度:10% 令和9	9年度:10%	令和10年度:10% 令和		あくまでも、事業所が主体 (アウトカムは設定されてい		Tは助言する立場であるた&)、設定にそぐわない。				

- 注1) 1. 職場環境の整備 2. 加入者への意識づけ 3. 健康診査 4. 保健指導・受診勧奨 5. 健康教育 6. 健康相談 7. 後発医薬品の使用促進 8. その他の事業
- 注2) 1. 健保組合 2. 事業主が主体で保健事業の一部としても活用 3. 健保組合と事業主との共同事業
- 注3) ア・加入者等へのインセンティブを付与 イ・受診状況の確認(要医療者・要精密検査者の医療機関受診状況) ウ・受診状況の確認(がん検診・歯科健診の受診状況) エ・ICTの活用 オ・専門職による健診結果の説明 カ・他の保険者と共同で集計データを持ち寄って分析を実施 キ・定量的な効果検証の実施 ク・対象者の抽出(優先順位づけ、事業所の選定など) ケ・参加の促進(選択制、事業主の協力、参加状況のモニタリング、環境整備) コ・健診当日の面談実施・健診受診の動線活用 サ・就業時間内も実施可(事業主と合意) シ・保険者以外が実施したがん検診のデータを活用 ス・その他
- 注 4) ア・事業主との連携体制の構築 イ・産業医または産業保健師との連携体制の構築 ウ・外部委託先の専門職との連携体制の構築 エ・他の保険者との健診データの連携体制の構築 オ・自治体との連携体制の構築 カ・医療機関・健診機関との連携体制の構築 キ・保険者協議会との連携体制の構築 ク・その他の団体との連携体制の構築 ケ・保険者内の専門職の活用(共同設置保健師等を含む) コ・運営マニュアルの整備(業務フローの整理) サ・人材確保・教育(ケースカンファレンス/ライブラリーの設置) シ・その他